

地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な事例をご紹介します



福岡県

FUKUOKA
Prefecture

2015年12月、福岡銀行及びぶくおかフィナンシャルグループ（以下FFG）は、福岡県と地方創生の取り組みを推進することを目的に、包括連携協定を締結しました。これまでも地方創生に係る取り組みを行ってまいりましたが、今般は福岡県農林水産部との取り組み「食育・地産地消フェア」をご紹介します。

食育・地産地消フェア

【福岡県産の農林水産物を活用した地産地消のメニュー提供】

【筑前町の野菜や果物等の出張販売】

福岡県では、「いただきます！福岡のおいしい幸せ」をスローガンに、地産地消に関する様々な取り組みを行っております。その一環として、昨年11月22日、FFG本社ビル食堂にて、県産品を活用した旬の柿を取り入れた天ぷら定食や、定食の小鉢（小松菜の

おひたし、きんぴらごぼう等）、八女茶を使ったデザートをメニューとして提供しました。同時に、『筑前町ファーマーズマーケットみなみの里』による野菜や果物、その他筑前町の特産品を販売する出張販売を実施しました。イベントは大盛況で、出店した事業者様には大変喜んでいただき、行員からは継続して開催してほしいとの要望がありました。

【バレンタイン用花束の特別販売】

福岡県は、全国第3位の花の生産県であり、花の魅力を多くの方に知ってもらい、県産の花の購買促進を図るため、フェアの開催や各種イベントで県産の花の展示等、様々な取り組みを行っています。

その一環として、2月14日、同食堂で、弊行行員向けに、花の持つ癒しを体感し、関心を持ってもらえるよう『フラワーバレンタイン用花束の特別販売』を実施いたしました。当日は、約90名の行員が家族や友人、職場の仲間等へ感謝の気持ちを伝えるため、花束を購入し、プレゼントとして活用

しました。

今後も、福岡県産品を「買って応援！食べて応援！」することで、福岡県ブランドの向上につながる持続可能な取り組みを福岡県と一体となり進めてまいります。

（福岡銀行公務金融法人部・
鶴原・津川）

ホームページは
こちらからどうぞ！



▲バレンタイン用花束



▲「筑前町ファーマーズマーケット
みなみの里」の販売風景



▲県産品を使ったメニューの
紹介